

【説明会の目的】

「決壊した穂保地先の堤防復旧状況」、「これまで地域の皆さまから頂いた意見」及び、「出水時にみられた堤防に関する事象」について説明

期 間: 令和2年 7月13~29日

説明者: 国土交通省 北陸地方整備局 千曲川河川事務所

出席者: 長沼地区(大町区・穂保区・津野区・赤沼区): 約170名(5日間で6回実施)、 豊野地区: 約70名(1日間で1回実施)

【千曲川河川事務所からの説明項目】

1. 堤防の復旧状況について

2. 地域の皆さまから頂いたご意見について

- ①: 穂保地先の堤防は「完成堤」なのに、なぜ越水したのか?
- ②: 穂保地先のみ低い堤防ではないのか? 越水ないように堤防を高くできないのか?
- ③: 狭窄部の河道掘削を実施して、水位を下げられないのか?
- ④: 緊急治水対策プロジェクトで「対策」とあるが、何がどのようになるのか数値的なものが分からない。
- ⑤: 穂保地先の堤防決壊の原因は何か?
- ⑥: 穂保地先ではなぜ遮水矢板を施工しないのか?

3. 出水時にみられた長沼地区周辺の堤防に関する事象について

＜地域の皆様から頂いた主な意見＞

- 立ヶ花狭窄部の河道掘削を早急に行い、治水安全度を上げてほしい。
- 下流に位置する大河津では越水していない状況。立ヶ花の掘削を少しでも進めるべき。上下流含めてリスクは共有するべきではないか。
- 狭窄部上流の中州等の堆積箇所について、優先的に河道掘削を進めてほしい。
- 河道掘削や遊水地、堤防強化の具体的な施工計画(箇所・着手時期・完了時期)を示してほしい。
- 越水により堤防が決壊していることや、河道掘削や遊水地の整備は時間を要するため、堤防を高くしてほしい。
- 堤防満杯で洪水を流すのではなく、余裕を持った整備をするべきではないか。
- ダムのような地形的特徴がある中で、通常の堤防高の考え方ではなく特別なものにしてほしい。
- 次に危ない場所はどこか計算で分かるのではないか。堤防高については均等にすべきである。
- 利水ダムの活用(事前放流)を行い、出水時の河川の水位を下げしてほしい。
- いつ、どこかの水位がどれくらいまで下がるか(最高水位)を水位予測していると思うが、一般の人でも見られるようにしてほしい。
- 過去のデータから河川の計画を立てるのではなく、全国的に雨の降り方が激甚化している中で、気候変動の影響を考慮した河川の計画を立ててほしい。
- 千曲市の霞堤については、現在閉鎖している形となっているが、その分の流量は下流側へ来るのか。



住民説明会の様子①



住民説明会の様子②